

令和6年 **8**月の**安らぎ**通信



給湯器、地震で転倒リスク 能登、水道復旧後も使えず

国民生活センター「施工状況確認を」

*能登半島地震では、ヒートポンプ式給湯器「エコキュート」や電気温水器の貯蔵タンクが倒れる被害が相次ぎ、水道が復旧しても多くの世帯でお湯が使えない生活を余儀なくされました。

*国民生活センターは「倒れるリスクを踏まえ、設置説明書通りに施工されているか確認を」と呼び掛けています。

*エコキュートなどの貯湯式給湯器は光熱費を抑えられ、断水時は貯めた水を緊急用水として使えるメリット。

*貯湯タンクが高さ2Mを超える商品も多く、地震で倒れやすくなります。

*2013年、給湯器の転倒防止措置を義務付けた国土交通省の改正告示が施行。

(2024年7月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

